２０２６年度広島市立大学
解答（出題の意図又は解答例）

外国人留学生選抜　国際学部　小論文

＜出題の意図＞

第１問の課題文は，日本の小中学校の教員不足に関するものである。受験者には，社会が抱える課題に関心を持ち，その解決に意欲をもってほしいと考え，この課題文を選んだ。問１，問２は，本学で学ぶのに必要な日本語運用能力を身につけているのかを問う問題である。問３は，それに加えて，課題文の内容をよく理解し，根拠に基づいて筋道を立てて考え，文章としてまとめることができるかを問う問題である。

第２問の課題文は，近年，「ポスト真実」と呼ばれて問題にされている状況について，日本のジャーナリズムの変化との関連から検討したものである。問１は，社会の諸課題について，根拠に基づいて筋道を立てて考え，文章としてまとめることができるかどうかを問う問題である。問２は，自分の意見を論理的にまとめられるかどうかに加えて，国際学部における専門的な課題に積極的に取り組むことができるかどうかを問う問題である。

＜解答又は解答例＞

第１問

問１（5点×2）

(1) 解答例：天気予報によると，明日は雨が降るそうだ。

(2) 解答例：作り話とは知りつつ，話を聞いてあげる。

問２（5点×3）

(a) 事態の悪化や変化を食い止めること

(b) 物事の進行に一段と力をそえること

(c) ためらってぐずぐずすること

問３（25点）

公立学校の教員の給与体系に時間外手当はなく，月給の一定率が「調整額」として支給されるため，実際に働いた時間の把握が徹底されず，仕事が長引いても給与は変わらないので，長時間勤務が見過ごされてしまうような環境。

第２問

問１（15点）

伝統的なジャーナリズムや科学など専門的な言説に対する信頼性が低下し，フェイクニュースや陰謀論が影響力を持つことが普通になった状態。

問２（35点）：解答例省略

評価のポイントは，以下の①と②のとおりである。

①「ワイドショー的なもの」がどのようにジャーナリズムに影響を与えたのかということについて，本文を理解したうえで適切にまとめているか。

②これからのジャーナリズムに必要なことについて，自分の考えを筋道を立てて説明しているか。